

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]  
作成日 平成21年4月30日

### 【評価実施概要】

事業所番号	4070201142		
法人名	医療法人 正周会		
事業所名	グループホーム 玄海の森		
所在地 (電話番号)	福岡県北九州市若松区大字有毛2933-6 (電話) 093-742-5567		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル 8F		
訪問調査日	平成21年3月31日	評価確定日	平成21年5月18日

【情報提供票より】(平成21年3月22日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 10 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 10.2人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 1500(円)
敷金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 100000円	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 3月22 日)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	6 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 78 歳	最高 92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	水巻共立病院	むらかみ眼科	かじわら歯科
---------	--------	--------	--------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム玄海の森は、岩屋海岸から千畳敷に程近い豊かな自然環境の中にあり、響灘を目の前にしたロケーションを有している。法人母体の医療機関の看護師との連携により、医療面でのアドバイスが受けやすく、入居者の日常的な健康管理や医療活用を柔軟に支援している。また同法人のスケールメリットを活用することで、施設間の交流や遠方へのドライブ等を行うなど、入居者や家族の希望に沿えるように日々取り組んでいる。家族への連絡・報告は、入居者の毎日の生活の様子・健康状態・話の内容等、個別に手書きされ家族に郵送されている。職員の入居者に対する想いが託された大切な記録として家族に喜ばれている。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度の評価結果をミーティング等で検討し、書類作成・整理に関して全職員で取り組み改善がなされ、サービスの質の向上に繋がっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価を行っている。日々のケアの振り返り・見直しの良い機会として捉えている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に行われる運営推進会議では、入居者の生活の様子や外部評価への取り組み状況と結果報告等が行われている。また参加した家族からの要望(ホーム近くに横断歩道がないので設置して欲しい・脳トレをさせて欲しい等)や意見等が積極的に出され、柔軟な対応によりサービスの質の向上に繋がっている。ホーム側の参加者は、管理者のみとなっているので一般職員の参加を検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	ホームへ来訪時や運営推進会議開催時に、家族との対話の時間を多く作るようにしている。入居者・家族からの意見・要望は記録として残し、ケアの改善に繋げるよう努めている。また直接言い難い場合は、意見箱の利用等を入居時に伝えている。どんなことでも言えるような関係作りが重要だと考え、入居者・家族とのコミュニケーションを大切にしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地理的に地域との交流が難しい面もあるが、隣接したディサービスの利用者との交流や、小学校から入学式への招待状が届いたり、運動会では観覧席が用意されているなど、地域の理解と交流を育んでいる。また、地域の方々が行っている湾岸清掃には職員が交代で参加し、地域の祇園祭りには入居者と共に参加するなど、積極的に地域との関係を作りたいという思いが感じられる。

2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分らしくのんびりと、共に過ごす豊かな日々」という独自の理念をグループホーム設立当初に創りあげており、地域の中で、その人らしい暮らしを支えることを目標としている。理念の「共に」の文言の中には、地域や他の入居者と共にという思いが込められている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はケアの本質に関するものである。理念を玄関に掲げ、出入り時に目に付くようにし、認識してもらうようにしている。家族にも説明し、共に確認し合うようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事である祇園祭りへの参加や、湾岸清掃(われら海岸探検隊)時には、ホーム職員が1~2人参加し地域の方々と交流することにより、入居者との橋渡しを行っている。また同法人のデイサービス利用者や、ボランティア(音楽療法)に訪れる方々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の重要性を全職員が理解しており、積極的に意見を出してもらった。また、全職員の記入により、普段見えていない問題点に気づき、問題解決に向けた話し合いを行うことで、日々のケアに対する視野が広がった。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行われる運営推進会議では、入居者の生活の様子や外部評価への取り組み状況と結果報告等が行われている。また参加した家族からの要望(ホーム近くに横断歩道がないので設置して欲しい・脳トレをさせて欲しい等)や意見等が積極的に出され、柔軟な対応によりサービスの質の向上に繋げている。ホーム側の参加者は、管理者のみとなっているので一般職員の参加を検討している。		

## グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の疑問や相談事、入居者の更新手続き時に介護保険課へ出向き、助言を得ている。最新の情報を得るためにも積極的に行き来する事が重要であると考えている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加した管理者が中心となり、内部研修を行い伝達している。現在制度を活用している方はいないが、今後馴染みのある地域で安心した暮らしを継続するためにも、制度の理解と活用は大切だと考え、入居者や家族に説明できるよう資料等の準備をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月個別に写真を入れ、体調や生活の様子を手紙と共に家族に送付している。その他にも訪問時や状況の変化があった場合など、時間をとって話をするようにしている。また金銭管理を行っている入居者に関しては、家族訪問時に確認していただくようにしている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族訪問時・介護計画説明時・運営推進会議等家族と話をする機会を利用し、意見や要望・不満事を聞くようにしている。何でも自由に言える関係作りに努めている。意見や要望が出た場合は職員会議等で検討し、柔軟に対応するようにしている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職を最小限に抑えるためのストレスケアを行っている。補充人員応募が少ないので、引継ぎを行うのが困難な状況である。現在は、職員数に余裕があるので、現場でのフォローで入居者への影響を軽減している。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。	職員の募集・採用にあたっては年齢や性別、有資格ではなく、人柄やグループホームに対する理解等を最優先している。無資格者に対しては、資格習得のためのフォローアップを個別に行っている。		

## グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	入居者一人ひとりを人生の先輩として尊敬し、決して馴れ合いの関係にならないように、親しみと節度ある態度で接するようにしている。行政から人権教育プログラムビデオを借り、内部研修を行っている。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	採用時は、新人研修としてマニュアルを用いた研修を行っている。また職員の経験やステップに応じて外部研修（心理学・医学・感染症等）に参加し、伝達研修を行い全員が周知できるようにしている。外部研修は勤務として参加し、休日の保証も行っている。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	福岡県グループホーム協議会や若松区主催のネットワーク研修会に参加している。積極的な参加が出来ない時期もあるが、継続することで他事業所の職員と顔なじみの関係を作りたいと考えている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	入居を希望している方の自宅や病院を訪問し、本人の状況を把握するようにしている。相談から入居に至る過程の中で、ホームの機能や役割を伝えながら、本人の意向の把握に努めている。4日～7日の体験入居や見学を通してホームの雰囲気を感じてもらい、安心して入居できるよう支援している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	入居者を人生の先輩として敬う気持ちを持ち、様々な事を教えてもらっている。地域に伝わる昔ながらの行事や料理、だしの取り方や味付けの仕方、針仕事得意な方からは縫い方を教えてもらうなど、普段の暮らしの中で、共に関わりを持ちながら一緒に楽しむようにしている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中での何気ない会話から、入居者の思いや意向を汲み取るようにしている。意思表示が困難な入居者に関しては、一日の暮らしの中での気付きや変化等、新たな情報をアセスメントに追加するなど、職員全員で共有できるようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は入居者や家族の希望・思いを汲み取り、介護計画に反映させると共に、日常の関わりの中で、入居者が自分らしく暮らせるように職員全員で検討し、個別・具体的な計画を作成している。</p>		
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1度見直しを行っている。また入居者の状況・状態に変化があれば、その都度見直しを行うようにしている。日々の介護記録を詳細に残し、介護計画の見直しに反映させている。精神面の情報は、センター方式を活用する事でより明確になっている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>隣接する同法人の福祉施設との交流や、かかりつけ医への通院時など、都合の付かない家族に代わって同行を行っている。月に1度の訪問理美容室や馴染みのある美容室への同行、また大浴場での入浴を希望する場合は、併設のサービスでの入浴を行うなど、入居者本位の柔軟な支援が実施されている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・家族と相談し、かかりつけ医を決めている。受診や通院は、家族や入居者の希望に応じて対応している。家族対応での受診の場合は、情報提供を行い、適切な医療が受けられるように支援している。</p>		

グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期において、可能な限りホームでの暮らしが継続できるよう支援したいと考えているが、明確な基準等が定められていない。現在のところ、具体的な取り組みがなく、終末期における医療との連携も課題となっている。今後入居者や家族の希望や要望にできるだけ沿えるよう、法人全体で重度化・終末期に向けた取り組みを考えている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報保護方針が掲示され、ミーティング時に全職員に注意喚起がなされている。個人記録やファイルは鍵の掛かる書棚に保管されている。また、入居者を人生の先輩として、尊厳を損なわないような言葉掛けや対応に心がけている。</p>		
24	54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の日課表はあるが、入居者の体調や気分に応じて散歩へ誘ったり、レクリエーション・入浴・手作業・その日できそうな事を促し支援している。何事においても入居者本人のペースで行うようにしている。</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事に関しては、台拭き・茶碗拭き・食材の下ごしらえ・盛り付けなど入居者のできることを行っている。食事は入居者の好みを把握し献立を立てている。また、職員は入居者と同じテーブルで食事をし、さりげない見守りを行い、楽しく食事が出来るよう配慮している。</p>		
26	59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日入浴できるように支援している。基本的に午後からであるが、時間外を希望される場合は、できるだけ希望に沿えるようにしている。拒否される方に関してはサービスの入浴場へ誘ったり、くじ引きで順番を決めるなど、楽しく気持ち良く入浴できるよう支援している。</p>		

グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や職歴等から、得意分野（庭の草花の水遣り・洋裁・和裁・華道・食事の準備・洗濯物たたみ・居間のモップ掛け）を行ってもらっている。また、同法人のサービスの利用者との交流も気晴らしや楽しみの一つになっている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には、野鳥のさえずる声が聞こえるホーム裏庭の散歩・テラスでのお茶などで、季節を感じてもらっている。家族の協力のもとグリーンパークや、塩入りの里へドライブを兼ねて、月1回の外食や買い物に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみで、日中鍵を掛けることは無い。玄関口にはチャイムが設置され、一人で行き出される入居者に関しては、職員がさりげなく同行し、気分転換ができるようにしている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の立会いのもと、法人全体で昼・夜を想定した非難訓練・消化訓練を実施している。また、緊急時には同法人施設の協力を得られる体制が整っている。		同法人内の協力体制が整っているが、今後運営推進会議等を通して地域の方々への協力を呼びかけることも大切ではないかと思われる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人の管理栄養士の指導のもとに献立が作成され、減塩食・刻み食等、入居者の状況に応じた形態で提供されている。食事量や水分量・体重の変化等記録に残し、健康管理がなされている。また月2回入居者と職員が共に買い物へ行き、好きな献立を調理するようにしている。		

グループホーム 玄海の森

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
32	83	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、季節の花や緑・入居者の作品・写真等が飾られている。白内障の方が数人いらっしゃることで、日差しが強い時には、よしずを立てかけるなど、特に光の調節に配慮している。食事作りの音や匂いに家庭的な雰囲気と生活感を感じ、季節の花や緑に季節を感じることができるように工夫し、居心地の良い空間づくりを行っている。		
		居心地よく過ごせる居室の配慮			
33	85	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のドアには、それぞれお気に入りの物を飾り、自分らしさを表現している。ベット・筆筒・エアコン・カーテンが備え付けられ、その他は馴染みのある鏡台・日用品・仏壇・テーブル・椅子等を持ち込まれている。衣替えは家族や職員と共に行い、入居者が安心できる空間となっている。		